

令和4年度 学習分析事業 改善計画 三原市立大和中学校

1. 本年度の結果

①学力定着分析 NRT 偏差値平均 (全国を50とする)

		国語	数学	理科	社会	英語	全体
1年	前年度結果 偏差値平均	/	/	/	/	/	/
	本年度結果 偏差値平均	45.8	46.5	48.6	50.3	46.1	47.5
2年	前年度結果 偏差値平均	53.9	53.5	55.3	58.8	48.4	54.0
	本年度結果 偏差値平均	52.4	51.2	57.3	53.5	50.4	53.0
3年	前年度結果 偏差値平均	47.2	50.9	45.5	48.4	46.5	47.7
	本年度結果 偏差値平均	45.4	51.9	44.4	48.2	47.9	47.9
全体	前年度結果 偏差値平均	50.6	52.7	49.5	52.6	46.8	50.5
	本年度結果 偏差値平均	48.1	49.7	50.5	50.9	48.2	49.6

②全国学力・学習状況調査 正答率平均 (第3学年対象)

教科	国語	数学	理科
前年度結果 (対県比)	67 (+2.0)	54 (-3.0)	/
本年度結果 (対県比)	70 (+1.0)	50 (± 0)	52 (+3.0)

2. 調査から明らかになった課題

<p>【年度当初の学力について】(NRTをうけて)</p> <p>○課題のある内容(1年生と3年生は、教科総合の偏差値平均50以下のため、1・3年生の中心に分析する)</p> <p>国:情報を選び構成を考えて話す 話し合い、感想や考えをもつ 漢字の書き</p> <p>社:地理的分野</p> <p>数:方程式 証明 四分位範囲</p> <p>理:物の温まり方や体積</p> <p>英:自分に関する英語を書くこと</p> <p>○課題のある内容及びその問いの解答形式から考えられる課題の具体</p> <p>①相手に伝わりやすい表現で伝えること</p> <p>②適切な理由(根拠)となる情報を添えて伝えること</p> <p>③語句の理解および正確な漢字やスペルで記述すること</p>	<p>【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて)</p> <p>●正答数が半数より少ないの生徒</p> <p>・名称からその意味を説明するだけでなく、意味から語句を答える力にも課題がある</p> <p>●正答数が半数以上の生徒</p> <p>・生活の具体的事象および問題を解決するために、知識を活用することに課題がある</p> <p>・問題文の中から思考の視点を捉え、その視点から考えることに課題がある</p> <p>○課題の具体</p> <p>・語句の理解</p> <p>・問題文および資料の正確な読み取りおよび解釈</p> <p>・日常生活および具体的な問題での知識・技能の活用</p>
---	--

3. 課題解決に向けた学校組織全体の重点目標・取組

重点目標 (何を、どの程度達成するか)	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標
<p>【授業改善を通じた学力・学習意欲の向上】</p> <p>①相手に伝わりやすい表現で伝える力の向上</p> <p>②適切な理由(根拠)となる情報を添えて伝える力の向上</p> <p>③語句の理解および正確な漢字やスペルで記述する力、基礎計算力の向上</p>	<p>①②に関する取組</p> <p>A.ワークシートの解答欄に話型の提示および複数の視点(資料)から考察する問いの設定</p> <p>②に関する取組</p> <p>B.5W1Hを読み取る「読み解き新聞」の実施</p> <p>③に関する取組</p> <p>C.自主ノートの学習方法の提示および指導(学習内容及び方法をまとめたものを配付し、ノートに貼るよう指示)</p> <p>D.低学力層生徒への補充学習(1回60分、指定2教科のプリントドリル学習)</p> <p>E.定期試験での漢字指定の実施</p>	<p>A.日々の授業(学期に最低1回)</p> <p>・定期試験に検証問題を出題</p> <p>※各教員、各学年で①または②の問題を定期試験に導入する</p> <p>B.2週間に1回</p> <p>C.1日あたり半ページ(毎日、学年部教員で指導)</p> <p>D.月に2回の補充学習</p> <p>E.定期試験</p>	<p>①②検証問題の全学年平均正答率80%以上</p> <p>③定期試験「知識・技能」の正答率60%以上 (低学力層の生徒の指定問題の正答率)</p>
<p>【学級・学習集団づくり】</p> <p>①ルールの見直しを通じた集団</p> <p>②自己肯定感の向上</p>	<p>①学級内ルール改正の話し合い活動の実施</p> <p>②学級や学校の中での相互評価および地域社会の人との交流の実施および校内掲示</p> <p>例)「特に頑張っていた人」「心の支えになった人」「生徒作品」</p>	<p>①学期に1回</p> <p>②行事の後</p>	<p>①</p> <p>指標: 次回Q-U「学級生活満足群」</p> <p>目標: 全校で+5人</p> <p>1回目Q-U学級生活満足群</p> <p>1年:25人、2年:20人、3年:16人</p> <p>W1:0人、W3:1人 計62人</p> <p>②</p> <p>指標: 学校評価アンケート「自分のよさが、まわりの人から認められています。」</p> <p>目標: 肯定的回答率80%以上</p>